



東日本大震災の時にはこの川尻地区を津波が襲いましたが、供養塔に記された教訓が生かされ、この石碑の前に建設された高さ12mの防潮堤と水門によって、川尻地区は犠牲者を出さずに済みました。

川尻津波供養塔は、現在の洋野町役場種市庁舎から1.6km北西にある海岸沿いの野原に立っています。寄託された義援金の一部を使って昭和9年(1934)に建立され、石碑の表には「不慮の津波に不断の注意」との文言が、裏には津波の犠牲者の芳名が記されています。

昭和8年(1933)の昭和三陸地震では、川尻地区に高さ7mの津波が押し寄せ、家屋の半数が流され107人が亡くなりました。供養塔の東にある川尻漁港も全壊し、多くの漁船が流失。明治三陸地震津波をはじめ、この地区は大地震が起きるたびに、津波被害に見舞われました。

川尻津波供養塔の脇に設置されたパネル。2019年からは川尻地区津波慰霊祭が開催されている。この供養塔により「地震＝津波」の意識を高め、東日本大震災では犠牲者を出さなかった



津波供養塔の表面には「昭和8年3月3日 不慮の津波に不断の注意 午前3時2分」と記されている。川尻地区はこの石碑の教えを代々伝え続け、震災に備えて避難訓練を地道に続けてきた



津波供養塔のある野原の向こうには高さ12mの川尻防潮堤が続く。防潮堤上部は遊歩道になっていて歩行者の通行が可能。遊歩道を進むと、津波の時に川からの逆流を堰き止める水門がある

●ひろのちよう

洋野町

川尻津波供養塔

●かわしりつなみくようとう

東日本大震災から地域を救った石碑



最大震度

4

浸水面積

1km²

最大浸水高

8.19m



全壊

10棟

半壊

16棟

一部損壊

40棟



死者

行方不明者

負傷者

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.11下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

慰霊碑公園

施設DATA

●かわしりつなみくようとう

川尻津波供養塔

なし

MAP P110E4

④洋野町種市第27地割76-19

③三陸沿岸道路洋野種市ICから車で7分

②見学自由

①あり(大型バス:あり)

? ? 考えてみよう

Q1 川尻津波供養塔には「昭和8年3月3日 不慮の津波に不断の注意 午前3時2分」と書かれていますが、この時の被害はどのような規模だったのでしょうか?



A1 岩手県で約3000人が死亡・行方不明となり、洋野町(当時の種市村と中野村)でも107人が犠牲となった。そのうち5人の犠牲者の芳名が供養塔の裏面に刻まれている。

北 上山地を背に太平洋に臨む久慈市は「北限の海女」の町として知られ、中心部は久慈湾の奥に位置。市内には国家石油備蓄基地があり、この作業用トンネルを利用して建設されたのが日本唯一の地下水族科学館 もぐらんぴあです。

震災に伴う津波で施設は全壊しましたが、平成28年(2016)に元の場所再開設。現在は再開を応援してくれた「さかなクン」が育てた魚やグッズの展示コーナーや、三陸の海を再現した「久慈の海水槽」があります。この水槽では、土・日曜、祝日限定で南部もぐりや北限の海女の素潜り実演を実施。震災を生き抜いたアオウミガメ「かめ吉」も、トンネル水槽で元気に泳いでいます。3階の防災展示室「あーすびあ」では、施設の被災状況や復旧の歩み、そして防災への備えといったテーマで、壁や床に映し出す映像、震災当時の写真などを使いながら紹介しています。



3階防災展示室「あーすびあ」では、室内の半分を使って薄暗い3.11の空を再現し、津波の映像などを見られる。館長による語り部プログラムは1週間前までに要予約(料金・日時は要相談)



東日本大震災を機にもぐらんぴあの応援団長になったさかなクン。育てた魚やイラスト、オリジナル商品、マスコットキャラクターの「もぐちゃん」や「かめ吉」の商品も販売している



約200種3000匹を展示。NHK連続テレビ小説「あまちゃん」で有名になった「南部もぐり」の潜水実演と「北限の海女」の素潜り実演を目の前で楽しめる。伝統的な潜水や素潜り技術を見学しよう

久慈市

久慈地下水族科学館 もぐらんぴあ

東日本大震災を乗り越え復活した水族館



最大震度 5弱

浸水面積 4km²

最大浸水深 15.45m



全壊 65棟

半壊 213棟

一部損壊 339棟



死者 4人

行方不明者 2人

負傷者 10人

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.1下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

その他

(水族館)

施設ガイド

音声ガイド

語り部あり

車椅子OK

※要予約

施設DATA

●くじちかすいぞくかがくかん もぐらんぴあ

久慈地下水族科学館 もぐらんぴあ

☎0194-75-3551 MAP P112E1

①久慈市侍浜町麦生1-43-7

②三陸沿岸道路久慈北ICから車で8分

🕒9～18時(11～3月は10～16時)

🌞月曜(祝日の場合は翌日)

🎫700円、高校生・大学生500円、小・中学生300円、未就学児無料

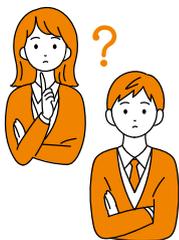
🅐あり(大型バス:あり)

<https://www.moguranpia.com>



考えてみよう

Q1 「もぐらんぴあ」のアイドル的存在で「もぐらんぴあ」の復興の象徴であるアオウミガメの「かめ吉」。なぜそのようなよばれるのでしょうか?



A1 震災により展示されていた魚介類はほとんど亡くなってしまったが、「かめ吉」は奇跡的に生存が確認された。青森の水族館への避難を経て、もぐらんぴあの復活に伴い戻った。



ある野田村が伝わってきます。

この被害状況や教訓、そして復興の足跡を伝承するため、村に再建された保健センターの3階に設けられたのが野田村復興展示室です。被災から復興に至る足跡が、映像やパネル展示で紹介され、中央には住民たちの思い出をもとに製作された震災前の村のジオラマ模型が展示されています。そして窓からは14mにかさ上げされた防潮堤、土地区画整理事業を終えた村の景色を見渡せます。

震災後に集まった泥だらけのアルバムや写真は、ボランティアの方々が洗浄し、ここに保管されている。写真は持ち主が判明した返却会の様子。同時に写真保存のためデジタル化の作業も続けられている



平成25年(2013)に「いわて失われた街 模型復元プロジェクト」の一環として製作された、震災前の野田村のジオラマ模型。住民の皆さんの思い出をもとにして作られ、震災前の営みや生業、思い出が詰まっている



展示のテーマは「野田村の伝えたいこと」。津波防災対策の考え方を将来に語り継ぐため、東日本大震災の記憶として、野田村の震災被害の写真、復旧・復興の歩み、防災マップなどがパネル展示されている

●のだむら

野田村

野田村復興展示室

●のだむらふっこうてんじつ

震災と村の営みと生業を伝える展示室



最大震度 5弱

浸水面積 2km²

最大浸水深 23.08m



全壊 311棟

半壊 168棟

一部損壊 36棟



死者 39人

行方不明者



負傷者 19人

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.11下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

展示

交流拠点

車椅子OK

施設DATA

●のだむらふっこうてんじつ

野田村復興展示室

☎ 0194-78-2963(野田村未来づくり推進課) MAP P112E1

📍 野田村野田17-107

🚗 三陸沿岸道路野田ICから車で5分

🕒 8時30分～17時15分

🗓 土・日曜、祝日

🆓 無料

🚗 あり(大型バス:あり)

? ? 考えてみよう

Q1 中央に展示されている震災前の野田村のジオラマ模型には、メモのような手書き文字が多く添えられています。どのようなことが記されているのでしょうか?



A1 野田村の住民たちのそれぞれの思い出や、生活、生業、そして村に残る古くからの伝統文化などが記されている。

代村は岩手県沿岸北部の小さな村です。震災では巨大津波が押し寄せましたが、高さ15.5mの東北と称される普代水門が被害を最小限に抑え、津波による犠牲者は1人も出ませんでした。村では明治三陸地震による津波で多くの犠牲者が出たことを踏まえ、同程度の津波から村を守るように水門の設計条件を決め、昭和47年(1972)の着工から12年を経て水門を完成させました。

建設には当時の村長の英断と尽力があります。国や村民からは建設反対の声が上がるなか、根気よく説得を続け実現させたのです。3・11の発災時には遠隔操作によって閉門を行っていましたが停電が発生したため、消防士たちが手動で操作して水門を閉鎖。直後に到達した津波は水門を2mほど超えましたが決壊することなく、津波は水門から数百m上流で止まり、間髪で村を守ったのです。



普代水門と太田名部防潮堤が住宅地や集落中心部への津波到達を防いだため、津波による死者・住宅被害はゼロとなった。その結果から普代水門は「奇跡の水門」ともよばれている



普代水門の建設に尽力した和村幸得元村長(故人)の功績を紹介。戦後の選挙で村長に初当選し、以後10期40年という長きにわたり普代村のトップとして村の発展に貢献した。まさに震災から村を救った人物だ



元村長の先見の明に村民一同心から感謝の意を表し、「二度あったことは、三度あってはならない」という村長の教訓を風化させず、後世まで受け継ぐことを誓い、平成25年(2013)にその言葉を刻んだ顕彰碑が建立された

●ふだいむら 普代村

●ふだいすいもん 普代水門

間一髪！村を守った奇跡の水門



最大震度 5強

浸水面積 1km²

最大浸水深 22.17m



全壊

半壊

一部損壊



死者

行方不明者

1人

負傷者

4人

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.11下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

普代村の被害状況

その他

(水門)

施設ガイド

※要予約

施設DATA

●ふだいすいもん

普代水門

☎ 0194-35-2114(普代村政策推進室) MAP P112E2

④ 普代村第14地割

④ 三陸沿岸道路普代ICから車で2分

👁️ 見学自由

🚌 あり(大型バス:あり)

? ? 考えてみよう

Q1 国や住民の反対を押し切り、説得して水門建設を実現させた和村幸得元村長。その強い思いはどこからきていたのでしょうか?



A1 元村長自身が昭和8年(1933)の三陸地震で大規模な津波を経験していた。「二度あったことは、三度あってはならない」と反対の声を説得し、建設を実現させた。



む人が再び集まっています。

山々々に囲まれた田野畑村の明戸地区は太平洋に臨む谷地の集落。クロマツの保安林が広がる明戸浜は、海流の関係で海水浴には適していませんが、キャンプ場やマレットゴルフ場があり、震災前には多くの人々がレジャーに訪れていました。

震災時には推定17mの第1波が防潮堤を乗り越え、引き波で堤体が破損し、クロマツ林やスポーツ施設も津波にのみ込まれ、沖合にあった8tの消波ブロックは砂浜に打ち上げられました。この時破壊された防潮堤の一部が、被災当時のままこの場所に保存されています。波打ったコンクリートが重なり合い、露呈した内部が津波の破壊力をまざまざと見せつけています。

復旧した明戸海岸防潮堤は平成29年(2017)に完成し、遺構の周辺はあずまやなどのある公園に生まれ変わりました。周辺のスポーツ施設も再建され、砂浜で遊ぶ人やスポーツを楽しむ

田野畑村の明戸海岸は東日本大震災前、広大な砂浜とクロマツの保安林が広がり、夏にはハマナスが咲き誇っていた。太平洋に注ぐ明戸川や松林は子どもたちの絶好の遊び場だった



津波によって決壊した防潮堤が、被災当時の姿のままに保存されている。見学路のほか、被災前後や決壊の瞬間の写真を使った解説板も整備され、津波の破壊力や震災当時の惨状を学ぶことができる



震災遺構や周辺の被災エリアではガイドプログラム「大津波語り部」も。体験村・たのはたネットワークで受付(☎0194-37-1211、所要1時間、👤1人2500円※1人のみの場合は5000円、人数により異なる、要予約)

●たのはたむら

田野畑村

震災遺構 明戸海岸防潮堤

●たのはたむら

被災した防潮堤が津波の破壊力を今に伝える



最大震度 4
浸水面積 1km²
最大浸水深 28.33m



全壊 225棟
半壊 45棟
一部損壊 11棟



死者 17人
行方不明者 15人
負傷者 8人

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.11下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

?

?

考えてみよう

Q1 巨大なコンクリート片が重なり合い、津波の威力の大きさを物語っていますが、震災前の防潮堤はどのくらいの規模だったのでしょうか?

Q2 平成29年(2017)に完成した明戸地区の新しい防潮堤は、以前より海から離れた場所に建設されましたが、こちらはどのくらいの規模でしょうか?

震災遺構

語り部あり

車椅子OK

※要予約

施設DATA

●しんさいいこう あけとかいがんぼうちうてい

震災遺構 明戸海岸防潮堤

☎0194-33-3248(田野畑村総合観光案内所) MAP P112E2

⑤田野畑村明戸海岸

③三陸沿岸道路田野畑中央ICから車で8分

④見学自由

Pあり(大型バス:あり)

●たのはたむら

田野畑村

田野畑村の被害状況

	最大震度	4
	浸水面積	1km ²
	最大浸水深	28.33m
	全壊	225棟
	半壊	45棟
	一部損壊	11棟
	死者	17人
	行方不明者	15人
	負傷者	8人

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.1下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

鎮魂、そして住民のコミュニティ復活の場
●らがふれあいこうえん
羅賀ふれあい公園
田 野畑村の玄関口である三陸鉄道田野畑駅から、北東方向に歩いて10分の場所にある羅賀ふれあい公園。ここは震災による津波で犠牲になった方々を追悼する鎮魂の場、そして住民同士のコミュニティ再生の場として整備された公園です。

公園内には明治29年(1896)の三陸地震津波によって打ち上げられた20tにおよぶ津波石、昭和8年(1933)の三陸地震津波の教訓を伝える石碑、そして東日本大震災の慰霊碑や大津波伝承の碑などが設置され、津波の脅威や教訓を訪れる人たちに伝えています。

震災で集落の奥まで津波が押し寄せた羅賀地区では多くの住居が流失しました。公園内に建立された震災の伝承・鎮魂碑には「津波を甘くみないで、より早く、より高い所へ逃げる」と刻んであります。「石碑に目を向けて、津波の脅威を認識してほつ」という強い願いが込められています。



羅賀地区同様に集落の奥まで津波が押し寄せた平井賀地区。かつては木炭の積み出し港として栄えた。震災時、平井賀地区の住民の多くは高台に避難したが、多くの住居が全壊した



東日本大震災の慰霊碑と、明治と昭和の慰霊碑が立つ。写真は明治三陸地震津波で打ち上げられた羅賀の津波石。語り部ガイドは震災遺構 明戸海岸防潮堤(P28)同様、体験村・たのはたネットワークで受付



震災時の津波で甚大な被害を受けた平井賀漁港・羅賀地区。海岸線には白亜紀の地層がある。20t近い重量の明治三陸地震津波の津波石は、ここから約250m内陸にある標高28mの畑まで津波によって運ばれた

慰霊碑公園

語り部あり

車椅子OK

※要予約

施設DATA

●らがふれあいこうえん

羅賀ふれあい公園

☎ 0194-33-3248 (田野畑村総合観光案内所) MAP P112E2

④ 田野畑村羅賀27-2

④ 三陸沿岸道路田野畑中央ICから車で7分

👤👤👤 見学自由

🅐 なし

？ ？ 考えてみよう

Q1 「羅賀の津波石」を250mも内陸に運んだとされる明治三陸地震津波は、羅賀地区にどんな被害をもたらしたのでしょうか？





津波に耐えたこの詩碑と駅の階段の一部をそのまま残して建設されたのが島越ふれあい公園です。公園内には幾度もこの地を襲った津波の犠牲者の芳名を刻んだ慰霊碑も建立され、震災と津波の脅威と教訓を伝えていきます。

島越地区はこれまで何度も津波の被害を受けながら復興してきましたが、東日本大震災では津波が辺りを襲い、甚大な被害が出ました。島越駅もホームに続く階段の一部を残して跡形もなく流されたのです。しかし駅前にあった宮沢賢治の詩「発動機船第二」を刻んだ石碑は、大きな破損もなく奇跡的に残されました。

田野畑村島越地区は村役場から南東に5kmほど離れた山あいの集落です。漁業従事者も多く、震災前の島の越漁港ではワカメやサケ、ウニ、アワビなどの漁が盛んで、近くの島越海水浴場にも多くの親子連れが訪れていました。

流失した旧駅舎跡から約100m北の高台に再建された三陸鉄道島越駅。昭和59年(1984)の三陸鉄道開業以来、地域の玄関口を担ってきた海に臨む旧島越駅は、震災時の巨大津波によって跡形なく消え去った



巨大津波によって流失した旧島越駅跡地に整備された公園。津波に耐えた宮沢賢治の詩碑が被災当時の姿のまま佇む。語り部ガイドは震災遺構 明戸海岸防潮堤 (P28)と同じく体験村・たのはたネットワークで受付



巨大津波による流失を免れて残された旧島越駅につながっていた階段の一部。そばにはこの辺りを襲った津波到達高(17.9m)を示した「津波高表示塔」も設置され、巨大津波の脅威をまざまざと感じさせる

●たのはたむら

田野畑村

島越ふれあい公園

●しまのこしふれあいこうえん

宮沢賢治の詩碑が伝える津波の事実



最大震度 4
浸水面積 1km²
最大浸水深 28.33m



全壊 225棟
半壊 45棟
一部損壊 11棟



死者 17人
行方不明者 15人
負傷者 8人

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.11下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

慰霊碑公園

語り部あり

車椅子OK

※要予約

施設DATA

●しまのこしふれあいこうえん

島越ふれあい公園

☎ 0194-33-3248(田野畑村総合観光案内所) MAP P112E2

📍 田野畑村松前沢1-4、1-52

🚗 三陸沿岸道路田野畑中央ICから車で10分

👁️ 見学自由

🅇 あり(大型バス:近くの島越駅に駐車可)

考えてみよう

Q1 宮沢賢治は現在の花巻市出身の詩人・童話作家ですが、田野畑村とはどのような関係があるのでしょうか?

また、なぜ駅前に彼の「発動機船第二」の詩碑があったのでしょうか?



A1 宮沢賢治は田野畑から船に乗った時、その情景を3つの作品に記した。それが「発動機船」で、第二の歌碑が島越駅に、第一と第三は田野畑駅にある。

岩泉町

岩泉町の被害状況

最大震度	4
浸水面積	1km ²
最大浸水深	28.46m
全壊	177棟
半壊	23棟
一部損壊	8棟
死者	10人
行方不明者	
負傷者	

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.11下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

大切な戒めの言葉を刻んだ津波記念碑

●ひがしにほんだいしんさいつなみきねんひ

東日本大震災津波記念碑

透

明度の高い湧水で知られる龍泉洞がある岩泉町は、北上山地の東部盆地に位置し、山あいの河川沿いに集落が点在しています。

なかでも津波記念碑が立つ小本地区は豊かな水産資源で栄えてきたエリア。太平洋に臨み、小本川の河口に位置しており、過去に明治、昭和の三陸地震津波、そして東日本大震災による津波で甚大な被害を受けました。津波記念碑はこの時の教訓をもとに建立。石碑前面には「命を守れ」という言葉とともに、この地域に語り継がれてきた津波に対する教訓が、そして石碑背面には東日本大震災の被害状況が記されています。さらにこの地区には命を救った避難階段があります。震災時に津波で浸水した小学校の児童たちが高台(国道45号)に向かうて必死で駆け上がった階段です。この階段は震災の2年前に設置されたばかりで、まさに間髪で難を逃れたのです。



碑が設置されている小本津波防災センター。震災時に津波で公共施設が被害を受けて使用できなくなったことを教訓に、今後、有事の際はここに集まり助け合おう、という思いを込めて建設された



背面に被害状況が記され、津波の脅威を後世に伝えていく。前面には「命を守れ」と刻まれた文字の横に「避難を呼びかけ高台に逃げろ・避難したら絶対に戻るな」など、命を守るための5つの教訓が

? ? 考えてみよう

Q1 川を遡上する津波から小本地区などの平地を守るため、全長221mと国内有数の規模を誇る「小本川水門」が昭和28年(1953)から約40年かけて整備されましたが、東日本大震災ではどの位の規模の津波が押し寄せたのでしょうか?



旧小本小学校の児童88人は、学校から高台の国道45号につながる避難階段を駆け上がり、間一髪で無事に避難できた。この避難階段についての伝承看板は浜の駅おもと愛土館に掲示されている

慰霊碑
公園

施設DATA

●ひがしにほんだいしんさいつなみきねんひ

東日本大震災津波記念碑

☎なし

MAP P112E2

⑤岩泉町小本南中野239-1

④三陸沿岸道路岩泉龍泉洞ICから車で1分

👁️見学自由

🚌あり(大型バス:なし)



この映像はホテルの社長が撮影したもので、津波の高さと威力を実感してもらうため、この場所でのみ公開しています。

見学では館内に入り非常階段と室内階段で6階へ。ここでは震災当日、6階の部屋から撮影された津波が押し寄せてくる映像を見ることが出来ます。

昭和61年(1986)に建設されたたろう観光ホテルは6階建ての建物で、田老漁港の北側約400mの場所に位置しています。震災時には高さ17mを超える津波が建物を直撃し、4階まで浸水。2階までは柱だけを残してすべて流失しました。しかし倒壊することなく現在の姿で留まりました。

「学ぶ防災ガイド」に参加すると、震災当日、ホテル6階から撮影した津波の映像を視聴できる。1階では、津波の力によって破壊されたエレベーターや階段、コンクリートの床が破損したところを見られる



外観の見学は自由。たろう潮里ステーション (P33) に「学ぶ防災ガイド」の申込みをすれば、施設内部も見学できる(9時～17時、1時間4000円、2時間1万円※要予約、ガイド1人につき40人まで対応可)



はじめは見学者が建物内に入る経路は非常階段のみだったが、見学者用のエレベーターが設置され、階段を上れない見学者も建物内に入って見学できるようになった

●みやこし

宮古市

津波遺構 たろう観光ホテル

●こなみいこう たろうかんこうほてる

津波の脅威を今に伝える震災遺構



最大震度 5強

浸水面積 10km²

最大浸水深 38m



全壊 2,677棟

半壊 1,328棟

一部損壊 444棟



死者 475人

行方不明者 94人

負傷者 33人

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.11下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

?

?

考えてみよう

Q1 震災当時、ホテル4階まで津波が押し寄せました。非常階段を上って5階まで行く経験を通して、どのようなことが感じとれるでしょうか。



A1 頑張って非常階段を上る大変さを通して、避難の大変さと周りが見えなくなってしまった震災当時の状況を体感できる。

震災遺構

施設ガイド

車椅子OK

※要予約

施設DATA

●つなみいこう たろうかんこうほてる

津波遺構 たろう観光ホテル

☎ 0193-77-3305(たろう潮里ステーション) MAP P112E3

📍 宮古市田老野原80-1

🚶 三陸鉄道新田老駅から徒歩15分

🕒 見学自由(外観のみ)

🚗 あり(大型バス:あり)

●みやこし

宮古市

宮古市の被害状況



最大震度 5強

浸水面積 10km²

最大浸水高 38m



全壊 2,677棟

半壊 1,328棟

一部損壊 444棟



死者 475人

行方不明者 94人

負傷者 33人

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.11下段に記載の資料に準拠
 ※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

●たろうしおさとすてーしょん 観光案内と三陸ジオパーク、震災・防災の学習拠点

たろう潮里ステーション

津

波で全壊した三陸鉄道田老駅にあった観光案内所が道の駅たろう内にオープンし、観光案内所と地区の震災・防災学習の拠点として運営されています。

この施設では学ぶ防災ガイド(有料、要予約)を受けており、津波遺構 たろう観光ホテル(P32)や田老防潮堤(P34)をガイドと一緒に見学することができます。また津波遺構 たろう観光ホテルで上映される映像では、あの日、町を襲った津波の様子を見ることができ、震災当時の状況を学び、ガイドと一緒に町を巡ることで、より深く理解することができます。ほかにも、震災前の田老地区の町並みを復元したジオラマ模型や三陸ジオパークに関する展示もあります。日本最大級の広さを誇る三陸ジオパークのゲートウェイとして、強大な自然の力、独特な地形、そして漁村の生活などを感じとりましょう。



国道45号沿いにある道の駅たろう。産直所やファストフードコーナー、個人商店などが集まる。田老地区の中心部に位置し、観光客だけではなく、地元の人々の交流の場としても多く利用されている



施設中央には震災前の田老地区の町並みを復元した模型が展示されている。三陸ジオパークのゲートウェイとして観光情報の提供や「学ぶ防災ガイド」の受付など田老地区を巡る際の拠点となっている



ジオパークとは「地球・大地(ジオ)」と「公園(パーク)」を組み合わせた言葉。三陸ジオパークのみどころが展示されているブースでは三陸の魅力、アクティビティなど、さまざまな情報を知ることができる

展示

交流拠点

施設ガイド

車椅子OK

語り部あり

※要予約

施設DATA

●たろうしおさとすてーしょん

たろう潮里ステーション

☎ 0193-65-7506 MAP P112E3

①宮古市田老2-5-1

②三陸沿岸道路田老南ICから車で4分

🕒9~17時

🚫無休

③無料/学ぶ防災ガイド1時間4000円、2時間1万円

※要予約(ガイド1人につき40人まで対応可)

④あり(大型バス:あり)

? ? 考えてみよう

Q1 「防災の町」といわれてきた田老地区。学ぶ防災ガイドでは田老地区のまちづくりについても解説しています。どのような理由から「防災の町」とよばれるようになったのでしょうか?



A1 防潮堤や津波避難路の整備、防災教育・防災訓練などに長年取り組んできたため。2001年度の総務省消防庁の「防災まちづくり大賞」も受賞した。



現在、壊滅を免れた第二線堤（旧第一防潮堤）は地盤沈下分をかさ上げして原形復旧され、津波の脅威を後世に伝えていきます。倒壊後に新たに整備された第二線堤とともに、ハード・ソフトの両面から、今後の災害時の防災が期待されています。

総 延長2.4km、高さ10mの規模を誇る田老町の巨大な二重防潮堤は、「万里の長城」ともよばれ、世界的に知られる防災のシンボルでした。明治と昭和の三陸地震津波により壊滅的な被害を受けた田老地区（旧田老町）では、昭和9年（1934）に防潮堤建設に着手しました。第二次世界大戦を挟んで昭和33年（1958）に第一防潮堤が完成。さらに昭和54年（1979）までに第二・第三防潮堤が整備され、X字型の二重構造の防潮堤となりました。しかし東日本大震災による巨大津波は、この堅牢な防潮堤を超え、田老地区に甚大な被害を及ぼしたのです。

田老漁港沿いにある白い2本の線状の部分が震災後に整備された第一線堤。第二線堤（旧第一防潮堤）は内陸側、写真右上の長内川のあたりから写真上中央の国道付近まで町を囲むように位置している



震災前に約4400人だった田老地区の人口は約2800人に減少。津波で浸水した低地は災害危険区域に指定され、住居専用建物の建設は禁止に。建設できるのは店舗兼用住宅のみになった



この地区に建設されたたろう潮里ステーション（P33）で受付けている学ぼう防災ガイドに参加すれば、実際に田老防潮堤に立って、震災時の津波の様子や地域の防災についてガイドの説明を聞くことができる

●みやこし

宮古市

田老防潮堤

●たのしみポイント

「万里の長城」ともよばれた堅牢な防潮堤



最大震度 5強

浸水面積 10km²

最大浸水深 38m



全壊 2,677棟

半壊 1,328棟

一部損壊 444棟



死者 475人

行方不明者 94人

負傷者 33人

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.1下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

その他

(防潮堤)

施設ガイド

※要予約

施設DATA

●たろうぼうちょうてい

田老防潮堤

☎ 0193-65-0031 (岩手県沿岸広域振興局土木部宮古土木センター)
MAP P112E3

④宮古市田老川向地内

③三陸沿岸道路田老南ICから車で5分

👁️👂👃見学自由

📵なし

? ? 考えてみよう

Q1 過去、X字型の二重構造で、世界でも有数の堅牢さを誇っていた田老防潮堤ですが、東日本大震災の巨大津波による被害はどの程度だったのでしょうか?



A1 海側の防潮堤の一部が津波で破壊された。防潮堤の被害は部分的だったが、乗り越えた津波が内側の集落を襲った。

宮古市の北約10kmの沿岸部に位置する震災メモリアルパーク中の浜は、かつては海に隣接する緑豊かなキャンプ場でした。しかし震災時に15mを超える津波が押し寄せ、壊滅的な被害を受けたのです。震災後はキャンプ場のトイレや炊事棟を震災遺構として保存し、自然の脅威を後世に伝えています。

震災廃棄物の再生資材を活用した展望の丘に上れば、津波と同じ高さを目線置くことができ、広大な範囲が津波にのみ込まれたことがわかります。丘の脇にある斜面には、そこを駆け上がった津波の高さを示す目印が付けられており、できるだけ上の高台に避難する大切さを痛感させられます。

さらに倒れている炊事棟の柱や高さ約17mの枝に絡まった漁具などに注目すると、引き波の威力もわかります。一方で被害面だけでなく、園内の豊かな自然とふれ合いながら「自然の恵み」も感じてもらいたいです。



メモリアルパークの開園時に復興・ふれあいの森づくりエリアに植えた周囲の野山と同じ種類の樹木。地元の崎山小学校の児童たちがこれらの成長を毎年観察しており、成長している姿から生物の力を感じとっている



公園の中心にある展望の丘は、目線が津波の高さとなるよう設計されている。ガイドの間合せは休暇村陸中宮古へ(☎0193-62-9911、📍6000円※11~50人まで1人増えるごとに100円加算、要予約)



震災遺構として震災当時のまま保存されている「炊事棟」。直径40cmのコンクリート柱がへし折られ、鉄筋がねじ曲げられている。押し寄せた波ではなく引き波によって傾いており、引き波の威力を物語っている

●みやこし

宮古市

震災メモリアルパーク中の浜

●しんさいめもりあるぱーくなかのほま

美しい自然に残された大震災の痕跡



最大震度 5強

浸水面積 10km²

最大浸水深 38m



全壊 2,677棟

半壊 1,328棟

一部損壊 444棟



死者 475人

行方不明者 94人

負傷者 33人

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.1下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

慰霊碑公園

語り部あり

車椅子OK

※要予約

施設DATA

●しんさいめもりあるぱーくなかのほま

震災メモリアルパーク中の浜

☎0193-62-3912(環境省宮古自然保護官事務所) MAP P112E3

📍宮古市崎山第3地割123

🚗三陸沿岸道路宮古北ICから車で15分

👤👤見学自由

🅇あり(大型バス:あり)

?

?

考えてみよう

Q1 震災がれき由来の再生資材を用いて造られた「展望の丘」。どのくらいの量の震災がれきが使われたのでしょうか。



が深まりまわ。
 途、語り部ガイドもありません。別
 で、併せて学びこころより理解
 が深まりまわ。
 途、語り部ガイドもありません。別
 で、併せて学びこころより理解
 が深まりまわ。

「震災伝承ギャラリー」を設けて
 います。
 ギャラリーでは、町内各地区
 の被災状況や船越小学校の避難
 の軌跡、復興後の町並みなどを
 パネル展示するほか、震災の証
 言映像などを上映しています。
 また、室内には被災した道路標
 識などの遺構を展示。被害の
 生々しさや津波の威力が伝わっ
 てきます。

コンバクトなギャラリーです
 が、入場無料で、映像や資料展示
 も豊富。特にまちづくりの過程
 が分かる映像展示「東日本大震
 災からの復興」は必見です。別
 途、語り部ガイドもありません。別
 で、併せて学びこころより理解
 が深まりまわ。



震災伝承ギャラリー内にあるモニターでは、「東日本大震災からの復興」をはじめとして、被災者や消防団員、炊き出し支援を行った町内団体メンバーらの証言映像を放映している



パネル展示「船越小、津波にのまれる」には、地元の海を知る校務員の進言をもとに、校長の判断で裏山に避難し、児童・教職員が助かったという、船越小の避難の軌跡が記されている



パネル展示「2011.3.11の記録」では、地図上で浸水区域の範囲や建物被害など、山田町の被災状況を見ることができる。そのほか、津波襲来時や津波火災時の映像を視聴することもできる

●やまだまち 山田町

山田町まちなか交流センター

●やまだまちまちなかこうりゅうせんたー

震災伝承ギャラリーを併設した地域交流の場



最大震度 5強
 浸水面積 5km²
 最大浸水高 18.97m



全壊 2,762棟
 半壊 405棟
 一部損壊 202棟



死者 824人注①
 行方不明者 1人注①
 負傷者 不明

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.1下段に記載の資料に準拠
 ※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

展示
交流拠点

語り部あり
※要予約

車椅子OK

施設DATA

●やまだまちまちなかこうりゅうせんたー

山田町まちなか交流センター

☎0193-82-3111(山田町役場) MAP P112E3

📍山田町川向町6-24

🚶三陸鉄道陸中山山駅からすぐ

🕒10～17時

🌞火曜(祝日の場合は翌平日)

🆓無料、語り部ガイドは2時間まで5000円※要予約、コースは応相談。申込みは☎0193-77-3732(新生やまだ商店街協同組合)へ。

🅇あり(大型バス:なし)

？ ？ 考えてみよう

Q1 船越小学校の避難の経緯は震災当時の報道で知られるところとなりました。この学校は高台にありましたが、海からはどのくらいの高さだったのでしょうか？

Q2 マニュアル通りに校庭に避難していましたが、校長にさらに高い裏山への避難を提言した校務員の判断の決め手になったことは何でしょうか？

A2 震災時の海の様子を目撃し、校務員が自身の父親から聞かされていた津波の教訓をもとに判断をした。

A1 海抜13mの高台にあった。

注① 出典: 3.11東日本大震災 山田町被害概要、令和3年11月26日15時発表、山田町



パネル形式の写真や映像によって震災時の様子を知ることができ、多目的ホールでは、復興過程をまとめたガイダンス映像(18分)が上映されています。大震災犠牲者回顧録「生きた証」、大震災記録誌「生きる証」などの書籍も展示されており、言葉の二つに込められた個々の想いが伝わってきます。

東日本大震災に関する資料やパネル形式の写真が並ぶ2階の震災伝承展示室では、設置されているタブレット端末を使って、震災直後の町の様子を360度の映像で確認できる。ぜひ手に取って見てみよう



1階の多目的ホール横の「ホワイエ」という名称の通路には、大槌町での暮らしぶりや周辺の豊かな自然の紹介、そして東日本大震災からの復興過程などの写真や説明文が掲示されている



2階の震災伝承展示室にパネル展示された「忘れない・伝える・備える」と「命を守る・備えるコトバ」。それぞれのパネルからは、被災者の言葉に込められた想いが伝わってくる。じっくり時間をかけて読んでみよう

●おおつちちょう

大槌町

おしゃっち
大槌町文化交流センター

被災者の言葉がリアルに響く伝承展示

最大震度
6弱(推定)注①浸水面積
4km²最大浸水深
22.12m全壊
3,579棟半壊
588棟一部損壊
208棟死者
856人行方不明者
416人負傷者
不明

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.1下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

大槌町の被害状況

東

側を太平洋に臨む大槌町は沿岸部から北西の内陸部に向かって広がっており、震災時に押し寄せた津波と直後に発生した津波火災により、壊滅的被害を受けました。おしゃっちは津波によって全壊した町立図書館やふれあいセンターなどを集約して開館した多目的施設です。エントランスホールには、町民が自分たちの思いを書き込んで制作した、被災前の大槌町の町並みを再現したジオラマ模型のほか、震災からの復興の過程などがパネル展示されています。

2階の震災伝承展示室では、

展示

交流拠点

車椅子OK

施設DATA

●おおつちちょうぶんかこうりゅうせんたー おしゃっち

大槌町文化交流センター
おしゃっち

☎ 0193-42-8718(大槌町震災伝承担当) MAP P112E4

📍 大槌町末広町1-15

🚶 三陸鉄道大槌駅から徒歩7分

🕒 9~21時

🔥 火曜

🆓 無料

🚗 あり(大型バス:あり)

https://www.oshacchi.com



注① 出典: 岩手県東日本大震災津波の記録, 平成25年3月, 岩手県

? ? 考えてみよう

Q1 「おしゃっち」から徒歩5分の場所に、旧大槌町役場庁舎の跡地があります。現在は一面クローバーが咲く広場ですが、どのような被災状況だったのでしょうか?



A1 高さ10mを超える津波に襲われ、庁舎の2階まで津波にのみ込まれた。跡地には震災当時の状況を説明した看板とお地蔵さまが設置されている。

震 災時に震度5強の揺れに見舞われ、市役所中央館が倒壊するなどの被害が出た遠野市ですが、海に面していない内陸部のため津波は襲ってきませんでした。沿岸部の各自治体と幹線道路でつながる遠野市は、以前より釜石市や宮古市などと災害時の支援体制の構想を練り準備を進めていました。市長は震災直後に「自衛隊や警察が集まるので、市内の競技場や大型駐車場を開放するように」と指示を出しました。まもなく3500人を超える活動人員が遠野市に集結し、刻々と伝えられる沿岸部の津波被害に対応するための、官民一体となった若手県沿岸被災地後方支援活動が始まったのです。



これまでの訓練と準備から遠野市は即座に後方支援の役割を果たすことができた。ネットワークの良さが発揮され、物資支援センターには神奈川大学や遠野まごころネットがボランティアに参加した



遠野市は沿岸部の各自治体と幹線道路でつながっているためアクセスが良く、ちょうど扇の要の部分のような役割を果たしている。多くの機関がここに拠点を置き、遠野市から沿岸部をバックアップした



津波被害こそなかったものの、遠野市も停電などライフラインに大きな被害を受けた。市内に活動拠点を置いた機関など、支援活動の団体数は延べ266団体、活動人員は7000人を超えた

●とおのし
遠野市

●さんいちいちひがしにほんだいしんさいとおのしこうほうしえんしりようかん
3・11東日本大震災
遠野市後方支援資料館

官民一体で取組んだ沿岸被災地後方支援の記録

遠野市の被害状況

最大震度	5強
浸水面積	
最大浸水深	
全壊	
半壊	4棟
一部損壊	622棟
死者	4人
行方不明者	1人
負傷者	4人

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.11下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

展示
交流拠点

車椅子OK

施設DATA

●さんいちいちひがしにほんだいしんさいとおのしこうほうしえんしりようかん

3.11東日本大震災
遠野市後方支援資料館

☎0198-62-2111 (遠野市総務企画部防災危機管理課) MAP P112D4

①遠野市青笹町糠前10地割46 (遠野市総合防災センター敷地内)

②釜石自動車道遠野ICから車で10分

🕒9～17時

🚫無休

🆓無料

🅐あり (大型バス:あり)

？ ？ **考えてみよう**

Q1 遠野市は迅速に岩手県沿岸部の津波被害の後方支援に着手しましたが、遠野市の被害規模はどうだったのでしょうか？

Q2 2021年3月に施設の増築などのリニューアルが行われましたが、施設の展示の1番の目的はどのようなことでしょうか？



隣接するいのちをつなぐ未来館(P4)では、防災センターでの出来事をまとめたパネル展示もあるので、併せて見学しより理解を深めましょう。

石市のなかで最大の被害を受けた鶴住居町。「東日本大震災の記憶や教訓を将来に伝えるとともに、生きることの大切さやすばらしさを感じられ、憩い親しめる場」として三陸鉄道鶴住居駅前エリアに複数の公共施設が2019年に整備されました。総称して「いのすまい・トモス」とよばれるエリアで、犠牲者を慰霊し追悼する施設となっているのが釜石祈りのパーク。犠牲になられた方々の芳名を刻んだ芳名板を設置し、献花台を備える慰霊碑のほか、鶴住居駅前地区における津波浸水高(海拔11m)を表すモニュメント、市民総意の誓いとして作られた釜石市防災市民憲章碑、多くの方が避難し犠牲となった防災センター跡地碑から構成されます。

慰霊碑・献花台のエリア。犠牲になられた方々の芳名が刻まれた芳名板の上には、この地区を襲った津波の高さ・海拔11mを表すモニュメントが立つ。隣のいのちをつなぐ未来館と併せて訪れたい



あらゆる災害から未来の命を守るため、市民総意の誓いとして作られた「釜石市防災市民憲章」を刻んだ碑。「備える・逃げる・戻らない・語り継ぐ」ことの大切さが説かれ、後世へ伝えるメッセージとなっている



津波が2階天井付近まで達し、釜石市で最も犠牲者が集中した場所となったしまった鶴住居地区防災センター。この想像を絶する悲劇を風化させることなく伝えるために跡地に碑が建立された

●かまいしし

釜石市

釜石祈りのパーク

●かまいししのりるのぱーく

町最大の被害を受けた跡地に立つ祈りの場所



釜石市の被害状況

最大震度 6弱
浸水面積 7km²
最大浸水高 29.34m



全壊 2,957棟
半壊 699棟
一部損壊 1,048棟



死者 775人注①
行方不明者 152人注①
負傷者 不明

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.11下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

慰霊碑公園

施設ガイド

車椅子OK

※要予約

施設DATA

●かまいししのりるのぱーく

釜石祈りのパーク

☎ 0193-27-5666(うのすまい・トモス) MAP P112E4

⑤ 釜石市鶴住居町4-901-2(うのすまい・トモス)

③ 三陸沿岸道路釜石北ICから車で4分

🚶 入場自由

🚌 あり(大型バス:あり)

<https://unosumi-tomосу.jp>

考えてみよう

Q1 鶴住居地区防災センターに震災当日、多くの住民が避難してしまいました。認識のズレがあり被害が広がったといわれていますが、それはなぜでしょうか?



A1 「防災センター」という名前なのに津波避難場所には指定されていなかった。また普段この施設で避難訓練が行われていたため多くの住民が殺された。

注① 出典：東日本大震災 釜石市証言・記録集「伝えたい 3.11の記憶」、平成28年(2016)7月13日、釜石市

「避難とはどういうものなのか」を自分ごととして捉えることができます。ほかにも、釜石鵜住居復興スタジアムや水門・防潮堤をめぐるコースもあり、多くの学びを得られます。

鵜 住居駅前エリアに広がる「うのすまい・トモス」に、震災伝承と防災学習のために設立された公共施設。釜石折りのパーク(P40)に隣接し、展示室や資料閲覧室、防災学習室を兼ね備えています。スタッフが常駐しており、館内を無料で案内するほか(要予約)、防災ワークショップや団体向けの防災研修など多彩なプログラムが用意されています。

メインコンテンツである語り部プログラムは、実際に地元の小・中学生が避難した道を歩いてたどり、震災当時の出来事を肌で感じる事ができるというも。鵜住居地区では多くの方が亡くなられた一方で、生徒たちのほとんどが生還を果たしました。避難路を体験することで「避難とはどういうものなのか」を自分ごととして捉えることができます。ほかにも、釜石鵜住居復興スタジアムや水門・防潮堤をめぐるコースもあり、多くの学びを得られます。



避難路追体験の語り部プログラムの様子。地元の小・中学生たちが避難した経路を実際に語り部と一緒に歩いて巡る。1時間半と2時間半のコースから選べるほか、オンラインプログラムも実施中



展示室は「東日本大震災と釜石」「鵜住居地区防災センターの出来事」「釜石の子どもたち」の3テーマに分けてパネルや映像で紹介。自由に見学可能だが、無料ガイドのお話をぜひ聞いてみよう(要予約、3人以上)



資料閲覧室は、東日本大震災に関する書籍や資料、寄贈された写真などを収蔵し、自由に閲覧できる。また防災学習室は企画展やワークショップなどが行われる多目的スペースとなっている

釜石市

●かまいしし

いのちをつなぐ未来館

●いのちをつなぐみらいかん

多くの生徒たちを救った実際の避難路を歩く



最大震度 6弱

浸水面積 7km²

最大浸水高 29.34m



全壊 2,957棟

半壊 699棟

一部損壊 1,048棟



死者 775人注①

行方不明者 152人注①

負傷者 不明

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.11下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

展示交流拠点

施設ガイド

※要予約

語り部あり

※要予約

車椅子OK

施設DATA

●いのちをつなぐみらいかん

いのちをつなぐ未来館

☎0193-27-5666(うのすまい・トモス) MAP P112E4

①釜石市鵜住居町4-901-2(うのすまい・トモス)

②三陸沿岸道路釜石北ICから車で4分

🕒9時30分～17時30分(11～2月は～17時)

🚰水曜

③館内無料(語り部プログラムは1時間半コース)

1万1000円～※1週間前までに要予約)

🅐あり(大型バス:あり)

<https://unosumai-tomos.jp>



考えてみよう

Q1 地元の小・中学生は発災後4つの避難場所を転々とした。実際の避難路はどれくらいの距離で、何分ほどかかったでしょうか?

Q2 普段避難訓練で使用していたごさいしょの里からさらに高台を目指して避難したきっかけは何だったでしょうか?

A1 約1.6kmの道のりを、40～50分間避難続けた。 A2 近くの崖が崩れ始め、異変を察知した付近の住民がさらに逃げたほうがよいと助言。避難したあとごさいしょの里は津波のみにみ込まれた。

注①出典:東日本大震災 釜石市証言・記録集「伝えたい3.11の記憶」,平成28年(2016)7月13日,釜石市



3階展示室では、津波による魚市場周辺や漁港の被害状況、復旧・復興の様子を動画や写真、パネルで解説しています。小・中・高生や観光客の団体には、職員による案内も実施しており(無料、要予約)、学習施設としても活用されています。2023年2月には、「震災伝承施設」に追加登録されました。大船渡市の浜の復興の象徴として、今後も震災の記憶や教訓を語り継いでいきます。

展示室では津波に襲われた魚市場周辺や漁港の被害、復旧・復興の様子について、動画や写真のほかパネルで展示・解説している。個人は原則自由見学だが、団体は職員が案内することも可能



昭 和39年(1964)に開設された旧大船渡市魚市場は、建物の老朽化とともに高度衛生管理や情報化などに対応するため、平成21年(2009)から新築工事を進めていました。しかし、その最中に津波によって被災し中断。震災の翌年に工事を再開し、平成26年(2014)に完成しました。世界有数の三陸漁場で獲れる豊富な魚介類の水揚げ基地として、生産者と消費者の橋渡し役を果たしています。



せり場や荷さばきなど衛生管理の考え方を取り入れた市場施設に、見学デッキや展示室、多目的ホール、飲食施設などの観光要素を加えた複合施設。見学デッキに出て、大船渡湾の雄大な景色を眺めたい



大船渡市は津波による被害を受けながらも、震災からおよそ2カ月後には水揚げを再開した。展示室では多くの人々に支えられながら、再び立ち上がる大船渡市水産業の姿や魚市場の仕事を知ることができる

●おおふなとし

大船渡市

地方卸売市場大船渡市魚市場

●おおふなとし

大船渡市臨海部の発展・復興のシンボル



最大震度 6弱

浸水面積 8km²

最大浸水深 26.39m



全壊

2,791棟

半壊

1,147棟

一部損壊

1,654棟



注①

死者

340人

行方不明者

79人

負傷者

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.1下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

展示

交流拠点

施設ガイド

※要予約

音声ガイド

車椅子OK

施設DATA

●ちほうおろしうりしじょうおおふなとしうおいちば

地方卸売市場大船渡市魚市場

☎ 0192-26-4112 MAP P114E1

📍 大船渡市大船渡町字永沢209

🚗 三陸沿岸道路大船渡碓石海岸ICから車で7分
🕒 9~17時

🚰 水曜

🆓 無料

🚌 あり(大型バス:あり)

https://www.ofunato-fm.com



注①出典:東日本大震災による被害状況等について、令和2年9月30日、大船渡市

? ? 考えてみよう

Q1 大船渡市魚市場は新築工事を行っている最中に被災し、作業が中断。その後、被害調査と手戻り(一度終了はたすの作業工程を戻ってやり直すこと)復旧工事の設計を経て、平成26年(2014)に完成しました。手戻り復旧工事では1階の床をかさ上げしましたが、それを行った理由はなぜでしょうか?

A1 震災により地盤が約80cm沈下したため。建物を支えるのに十分な硬さをもつ地盤(支持地盤)ごと沈下していた。

展示を見学できます。

館内にはシアター、地質展示室、考古・民俗展示室、子ども向けの体験コーナーがあり、地域の自然と文化について興味深い展示を見学できます。

これらの展示とともに、大津波の記録をまとめた映像「荒れ狂う海～津波常習地・大船渡～」の上映、明治29年(1896)と昭和8年(1933)の三陸地震津波、昭和35年(1960)のチリ地震津波の写真や記録の展示が行われています。また、コンテンツから、この地域が経験した巨大津波の特徴、被災から得た教訓など、津波に対する知識を学ぶことができます。

大船渡市立博物館は高台に位置していたため、津波被害を免れましたが、市内にあった保管庫が津波に襲われ、資料流失や水損の被害に遭いました。再開後は市が撮影した震災の記録や市民から提供された写真などを収集し、震災の状況を広く発信。市の復興に取組む姿を紹介してきました。



明治29年(1896)と昭和8年(1933)の三陸地震津波、昭和35年(1960)のチリ地震津波を振り返り、先人たちの教訓を後世に残すために、それぞれの被害や地震と津波の関連性がパネル展示で解説されている



岩手県南東部の気仙地域(大船渡市・陸前高田市・住田町)の自然や文化に関する資料を展示。シアターでは「荒れ狂う海～津波常習地・大船渡」のほか、常設展示の案内映像「大船渡 その海と大地」を上映している



東日本大震災の津波映像などをまとめた「荒れ狂う海～津波常習地・大船渡」は、20分の完全版と5分の短縮版がある。英語、中国語(簡体字・繁体字)、韓国語にも対応している

大船渡市

大船渡市立博物館

●おおふなとしりつはくぶつかん

三陸海岸を襲った大地震・津波の歴史を展示



最大震度 6弱

浸水面積 8km²

最大浸水深 26.39m



全壊 2,791棟

半壊 1,147棟

一部損壊 1,654棟



死者 423人

行方不明者 79人

負傷者 2人

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.1下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

その他

(博物館)

車椅子OK

施設DATA

●おおふなとしりつはくぶつかん

大船渡市立博物館

☎ 0192-29-2161 MAP P114E1

📍 大船渡市末崎町字大浜221-86

📍 三陸沿岸道路大船渡碓石海岸ICから車で10分

🕒 9時～16時30分(最終受付は16時)

📅 月曜(祝日の場合は翌日)、資料整理日、くん蒸期間

🎫 300円、高校生以下無料

🚗 あり(大型バス:あり)

考えてみよう

Q1 シアターで上映されている「荒れ狂う海～津波常習地・大船渡」は多数の動画と写真を整理・編集・多言語化して約1年かけて制作されました。映像や常設展示からどのようなことがわかりますか?



A1 三陸沿岸が経験した過去の津波の特徴をはじめ、被災から得た教訓、津波への正しい知識がわかる。



昭和34年(1959)に東北初の公立登録博物館として誕生し、総合博物館として親しまれてきましたが、震災で施設は全壊。同じく被害を受けた「海く貝のミュージアム」と合築して新設し、2022年に開館しました。被災資料は全国の専門機関の協力を得て救出し、今も修理作業が継続中です。

常設展示は9つのコーナーに分かれ、陸前高田の自然、歴史、文化に関する資料を収蔵、展示しています。「宿命とともに生きる」では、過去に同市を襲った津波の歴史を振り返りながら、津波記念碑や残された貴重な記録を紹介。津波の経験が、次の津波の際にどう生かされたのか、あるいは生かされなかったのかを解説しています。「二万」奇跡の海三陸」では、三陸の海に面した同市の多様な生物を紹介。海は津波という恐ろしい一面をもちながら、同時に豊かな恵みと文化を育んできた場所であることを伝えています。

「発見の部屋」では、パズルや模型で遊びながら陸前高田の自然や歴史、文化について楽しく学べる。体験グッズやワークシートを使った展示や仕掛けもあり、来館者の「知りたい」意欲を刺激してくれる



約56万点のうち約46万点が救出され、よみがえりつつある資料の様子を、安定化処理や修復技術と共に紹介する「よみがえる博物館」。館内の作業室では国際的にも前例のない、津波被災資料の修復作業を見学できる



魚の王国とよばれる三陸の海を有する陸前高田の山・川・海の生物を、たくさんの写真や標本などで幅広く紹介している「奇跡の海 三陸」。三陸や世界の貝約2000点を展示する「貝たちの部屋」も併せて見よう

陸前高田市

●りくぜんたかたし

陸前高田市立博物館

●りくぜんたかたしりつはくぶつかん

三陸の海の厳しさと優しさを同時に学べる

陸前高田市の被害状況



最大震度 6弱

浸水面積 13km²

最大浸水深 17.6m



全壊 3,807棟

半壊 240棟

一部損壊 3,988棟



死者 1,559人注①

行方不明者 202人

負傷者 不明

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.1下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

展示

交流拠点

施設ガイド

車椅子OK

※要予約

施設DATA

●りくぜんたかたしりつはくぶつかん

陸前高田市立博物館

☎ 0192-54-4224 MAP P114D1

📍 陸前高田市高田町並杉300-1

🚗 三陸沿岸道路陸前高田ICから車で5分

🕒 9～17時(最終入館は16時30分)

🌞 月曜(祝日の場合は翌平日)

🆓 無料

🅇 施設向かいの公共駐車場を利用

<https://www.city.rikuzentakata.iwate.jp/soshiki/kanrika/hakubutsukan>



考えてみよう

Q1 同館には「博物館資料を持ち去らないで下さい。高田の自然、歴史、文化を復元する大事な宝です。市教委」と書かれた書き置きが展示されています。これは震災当時誰かによって書かれ、被災した博物館のなかに残されていました。現在はその書き置きをどこに、どういう思いを込めて、展示しているのでしょうか?

A1 常設展示室の入口に展示している。震災当時、職員たちはこの書き置きから大きな勇気もらい、博物館再生の象徴だと考えた。

注① 出典：陸前高田市東日本大震災検証報告書、平成26年7月、陸前高田市
注② 出典：陸前高田市による調査、令和4年12月末

陸前高田市

陸前高田市の被害状況

	最大震度 6(推定)
	浸水面積 13km ²
	最大浸水深 18.34m
	全壊 3,807棟
	半壊 240棟
	一部損壊 3,988棟
	死者 1,606人
	行方不明者 202人
	負傷者 不明

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.1下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

津波の破壊力をまざまざと感じる

●たびつくよんじゅうご(きゅうみちのえきたかたまつばら)

タピック45(旧道の駅高田松原)

震災遺構

施設ガイド

車椅子OK

※要予約

施設DATA

●たびつくよんじゅうご(きゅうみちのえきたかたまつばら)

タピック45(旧道の駅高田松原)

☎090-7528-8182(高田松原津波復興記念公園パークガイド受付事務局)
MAP P114D1

⑤陸前高田市高田町古川28-5

③三陸沿岸道路陸前高田ICから車で5分

👁️🗺️🗺️欄の外から見学自由(構内を見学する場合は高田松原津波復興記念公園パークガイドの利用が必要)
🕒9時~17時30分※日没の早い冬期は早まる場合あり

📄有料※ホームページで要確認)

🚗あり(大型バス:あり)

https://takanavi.org/shinsai



津

波の脅威を物語る旧道興祈念公園(P.47)に震災遺構として整備、公開されています。構内の見学時は高田松原津波復興祈念公園パークガイド(有料、要予約)の利用が必要。

津波のエネルギーを逃がす建物の形状により、外観に大きな損傷は見られませんが、構内に足を踏み入れると様子が一变します。壁、天井、床が破壊され、中に入った物はほぼ流出。風や揺れなどに強いとされる「耐力壁」さえ崩されていることから、津波のすさまじい破壊力が見て取れます。

構内にはこの建物の屋上へ避難し、九死に一生を得た3人の体験談を伝える看板もあります。もし次に津波が来た時は、東日本大震災で助かったことを理由に同様の行動をするべきなのか。それとも近くにより高い場所があれば、そこへ避難するべきなのか。自分の身に置き換え、深く考えさせられます。



津波の圧力を強く受け、大きく損傷した建物の内部。壁や天井が破損し散乱しているが、できるだけ震災当時のまま、保存している。国道側にあったという増築部分も、津波により根こそぎ消えてしまった



建物は海側からの上りやすさを考慮したデザイン。震災時、津波は屋上のすぐ下、14.5mまで迫っていた。このような震災当時の話も、地元住民が案内役を務めるパークガイドから聞くことができる



構内には津波が押し寄せている瞬間の写真パネルや、この建物の屋上に命からがら避難した3人の心情を伝える看板などを設置。構内の状況と照らし合わせながら読むと、震災当時をより理解できる

? ? 考えてみよう

Q1 コンクリートの建物に見られる構造で、風や揺れなどの衝撃に強い壁「耐力壁」も、震災時の津波の威力にはかなわず、無残にも破壊されました。構内の耐力壁を見ると、津波が来た海側に向かって倒れています。これはどういうことを意味しているのでしょうか?

A1 押し波ではなく、引き波によって倒された。引き波も押し波と同じように威力が強いことを表している。

注① 出典:岩手県東日本大震災津波の記録,平成25年3月,岩手県



「命を守り、海と大地と共に生きる」をテーマに、歴史をひもとく、事実を知る、教訓を学ぶ、復興を共に進める、という4つのゾーンで構成。三陸の津波災害の歴史、震災津波や復興の取組みに関わる写真や映像、被災物や被災者の証言など約150点を展示しています。施設が所在している高田松原津波復興祈念公園(P47)には、奇跡の一本松をはじめ5つの震災遺構が点在しており、公園全体がフィールドミュージアムとしても機能し、震災津波の教訓を力強く伝えていきます。

館内には解説員が常駐し、わかりやすい説明により来館者の理解を助け、防災・減災の行動へつなげられるようにサポートしてくれる。また、セミナーなどの教育普及も実施されている



エントランスには高田松原津波復興祈念公園、陸前高田市、三陸沿岸地域、3.11伝承ロードなどについての詳細な情報を提供する液晶モニターやパネル、三陸沿岸地域の地図が展示されている



40席のガイダンスシアター。震災津波の破壊力や脅威を実感する約12分の映像を上映。リアス海岸の地形に注目した津波が大きくなる仕組みにもふれられており、多角的に学べる

●りくぜんたかたし

陸前高田市

東日本大震災津波伝承館 (いわてTSUNAMIメモリアル)

●ひがしほんだいしんざいつなみでんしょうかん(いわてつなみメモリアル)

テーマは命を守り、海と大地と共に生きる

陸前高田市の被害状況

	最大震度 6(推定)
	浸水面積 13km ²
	最大浸水深 18.34m
	全壊 3,807棟
	半壊 240棟
	一部損壊 3,988棟
	死者 1,606人
	行方不明者 202人
	負傷者 不明

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.11下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

展示

交流拠点

施設ガイド

車椅子OK

※要予約

施設DATA

●ひがしほんだいしんざいつなみでんしょうかん(いわてつなみメモリアル)

東日本大震災津波伝承館
(いわてTSUNAMIメモリアル)

☎ 0192-47-4455 MAP P114D1

⑤ 陸前高田市気仙町土手影180

⑥ 三陸沿岸道路陸前高田ICから車で5分

⑦ 9~17時(最終入館は16時30分)

⑧ 無休(臨時休館あり)

⑨ 無料

⑩ あり(大型バス:あり)

https://iwate-tsunami-memorial.jp



考えてみよう

Q1 気仙大橋の橋桁の一部や田野畑村の消防車など、被災した実際の物が常設展示されています。どのような願いから行われている展示でしょうか?



A1 東日本大震災津波の事実と教訓を正しく学び、災害を自分ごととして捉え、防災・減災の行動へつなげてほしい。

注① 出典: 岩手県東日本大震災津波の記録, 平成25年3月, 岩手県

陸前高田市

陸前高田市の被害状況

最大震度
6(推定)浸水面積
13km²最大浸水深
18.34m全壊
3,807棟半壊
240棟一部損壊
3,988棟死者
1,606人行方不明者
202人負傷者
不明※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.11下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

5つの震災遺構が残る追悼・鎮魂の場

●たかたまつばらつなみふっこうきねんこうえん こくえいついとう・きねんしせつ

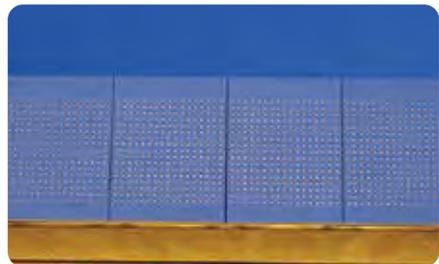
高田松原津波復興祈念公園
国営追悼・祈念施設

広 大な公園内は「祈りの軸」と「復興の軸」という2つの軸を中心に、奇跡の一本松、追悼の広場、海を望む場などで構成される国営追悼・祈念施設となっています。海に向かって垂直に延びる祈りの軸は津波の襲来した広田湾方向と津波が遡上した気仙川上流部を東西に結び、海と併行して延びる復興の軸は震災の脅威を伝える旧道の駅タビック45(P45)から現在の道の駅高田松原を南北に結んでいます。

この2つの軸が交わる場所には水を張った水盤があり、屋根から入ってくる自然光が水盤を照らす仕組みになっています。水により津波を想起させ、光によって未来に向けた復興を感じさせることで、こころを追悼・鎮魂の場としているのです。そして大屋根のファサードには、1万8434個の小さな穴が開けられており、夜間になると燈が灯ります。これは震災の犠牲者数を示しています(注②)。



祈りと鎮魂を意味する「大屋根のファサード」。清澄な美しさをテーマにデザインされている。白いコンクリートのパネルには間接照明が配置され、夜間には1万8434個の燈が灯る



祈りの軸の終点「海を望む場」。ここからは震災時に津波が押し寄せた広田湾や再生していく名勝・高田松原、そして陸前高田の市街地やこの地方の山々を広く望むことができる



津波が襲来した海への祈りの方向を示す祈りの軸と、旧道の駅と新道の駅をつないだ復興の軸が交わる場所にある「トップライトと水盤」。来訪者の気持ちを静める追悼・鎮魂の場となっている

慰霊碑
公園

施設ガイド

※要予約

語り部あり

※要予約

車椅子OK

施設DATA

●たかたまつばらつなみふっこうきねんこうえん
こくえいついとう・きねんしせつ高田松原津波復興祈念公園
国営追悼・祈念施設

☎0192-22-8911 MAP P114D1

①陸前高田市気仙町土手影180

②三陸沿岸道路陸前高田ICから車で5分

🕒9~18時(10~3月は9~17時)

🆓無料

🆓無料

🅇あり(大型バス:あり)

https://takatamatsubara-park.com



①市街地を津波から守るため、防潮堤や海岸防災林の整備のほか、津波エネルギー減衰機能の付加などを行っている。

注①出典:岩手県東日本大震災津波の記録,平成25年3月,岩手県 注②2018年3月11日時点の警察庁発表資料による



14・2mもの津波に襲われ、全壊した中学校を公開しています。柵の外からは常時見学できますが、校舎内部の見学には高田松原津波復興祈念公園パークガイド(有料、要予約)の同行が必要です。海に近かった気仙中学校では、普段から他校と比べ重点的に防災訓練を行っており、震災当時もすぐに避難をしたことで、学校にいた生徒と教職員全員が無事でした。そういった実際の経験を踏まえ、震災当時の様子を交えながら、ガイドが日頃の防災教育の重要性を伝えています。

3階建て校舎を丸呑みするほどの津波によって、天井に学生服や椅子が引っ掛かり、2階には大型冷蔵庫、3階には住宅の屋根が流れ着き、残されています。自分の学校が、もしくは登下校中に1人で災害に見舞われたら…。携帯電話なども使えない状況で、家族と合流するにはどうするべきなのか。自分ごととして考えてみましょう。

ポツンと残されたオルガンだけが、この場所の名残をとどめている音楽室。ほかにも校舎内では天井に引っ掛かった学生服や椅子、漂着した家電製品や住宅の屋根などが見られ、津波の脅威を物語っている



津波の衝撃でへし曲がった扉。津波は屋上に達する14.2mの高さで、外壁には津波高を示す看板もある。津波から少しでも早く遠くへ逃げる場合、どのタイミングで避難行動を開始するべきかを考えよう



震災当時の状態で、泥まみれの机や椅子が散乱。遺構は高田松原津波復興祈念公園(P47)に位置し、校舎から奇跡の一本松を望めるスポットも。園内の東日本大震災津波伝承館(P46)も併せて見学したい

●りくぜんたかたし

陸前高田市

気仙中学校

●りくぜんちゅうがっこう

全壊した校舎が日頃の備えの大切さを訴える

陸前高田市の被害状況

	最大震度 6(推定) ^{※1}
	浸水面積 13km ²
	最大浸水深 18.34m
	全壊 3,807棟
	半壊 240棟
	一部損壊 3,988棟
	死者 1,606人
	行方不明者 202人
	負傷者 不明

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.1下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

震災遺構

施設ガイド

※要予約、車椅子の方には、入口付近で施設の内が可能(要相談)

施設DATA

●けせんちゅうがっこう

気仙中学校

☎ 090-7528-8182(高田松原津波復興祈念公園パークガイド受付事務局)

MAP P114D1

⑤ 陸前高田市気仙町小淵202

③ 三陸沿岸道路陸前高田長部ICから車で4分

⑥⑦⑧ 柵の外から見学自由(構内を見学する場合は高田松原津波復興祈念公園パークガイドの利用が必要)

⑨ 9時~17時30分※日没の早い冬期は早まる場合あり

⑩ 有料※ホームページで要確認(別途管理費1人500円)

⑪ あり(大型バス:あり)

https://takanavi.org/shinsai



考えてみよう

Q1 校舎3階には、住宅の屋根が流れ着いて引っ掛かり、そのまま残されています。引っ掛かっている方向は、津波が来た海側からではなく、反対の山側からです。このことから何が分かると思いますか?



A1 引き波も校舎3階相当、あるいはそれ以上の高さを保っていたという。また、がれきを巻き込んで強い威力が働いたことが分かる。

注① 出典: 岩手県東日本大震災津波の記録, 平成25年3月, 岩手県